

# 長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第10回 環境部会	
日時	平成23年6月29日（水）午前9時30分から午前11時50分まで	
会場	長野市役所 第二庁舎10階 会議室18	
出席者	作業部会員 (敬称略)	井出 靖、志村雅由、山口智子、小山 明、高木亜矢子、堀池政史
	関係課員	財政課、環境衛生試験所、環境政策課、廃棄物対策課、生活環境課、清掃センター、衛生センター、農政課、農業土木課、森林整備課、観光課、河川課、公園緑地課、農業委員会事務局、上下水道局総務課、配水管理課、サービスセンター、浄水課、業務課、下水道建設課、下水道施設課、企画課（事務局）

<p>I 会議次第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 部会長あいさつ</p> <p>3 市民フォーラム21 第8回 環境部会 会議概要について <span style="float: right;">別添資料</span></p> <p>4 第四次長野市総合計画 後期基本計画 指標(案)【環境分野】について <span style="float: right;">資料1</span>  (参考) 第四次長野市総合計画 前期基本計画 指標の状況について <span style="float: right;">資料2</span></p> <p>5 第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申(素案)【環境分野】について <span style="float: right;">資料3</span>  (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画 施策の目標と主な取組について  (2) 図表(案)について</p> <p>6 その他 <span style="float: right;">資料4</span>  (1) 平成23年度 第2回 長野市総合計画審議会の議事について  平成23年度 第2回 長野市総合計画審議会資料集  (2) 第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申について</p> <p>7 閉 会</p>	
<p>II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）</p> <p>3 市民フォーラム21 第8回 環境部会 会議概要について  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別添資料</span>のとおり確認した。</p> <p>4 第四次長野市総合計画 後期基本計画 指標(案)【環境分野】について <span style="float: right;">資料1</span>  (参考) 第四次長野市総合計画 前期基本計画 指標の状況について <span style="float: right;">資料2</span></p> <p><b>【211 総合的・計画的な環境対策の推進】</b></p> <p>① <b>基本施策指標(案)「マイバッグ持参率」について</b>  平成28年まで調査が継続するか決まっておらず、調査方法である一斉店頭調査も、抽出調査であり、限られた店舗数・時間で、業種はスーパーマーケットのみであるなど、指標として適切か疑問である。  ⇒ 基本的にレジ袋削減県民スクラム運動の中で実施していくことであるが、事業として平成28年度まで継続するかどうか検討しなければならない。一方、他に市民・事業者・行政が一体となった</p>	

適切な事例がないことから、この指標にしているところもある。

- ⇒ 備考欄にもあるように県民スクラム運動と協調した目標値を設定している。現在、ながの環境パートナーシップ会議と共に実施した数値を実績値としているが、今後、どのように調査を実施していくか検討していくこととし、レジ袋を削減するという目標は、設定させていただきたい。
- ⇒ その調査過程と背景が、情報共有された上での目標値であるということであれば、良いのではないかと。
- ⇒ 現在、スーパーマーケットよりもコンビニエンスストアの方が売り上げが伸びていることも考慮すると、調査方法を再検討してもらうことで、指標としても良いと思う。
- ⇒ 補足であるが、この指標は、現在策定作業中の第二次長野市環境基本計画でも設定する予定である。いかに適正な数値を把握できるかも課題であることも含めて、有効な指標となるよう検討・調整したい。

## ② 基本施策指標(案)「環境保全等に関する計画策定数」について

特記事項に「環境保全に関しては、環境基本計画等その他個別計画により既に取り組んでいるため別途策定しない」とあるが、環境基本計画等の等は何を指しているのか。

- ⇒ 地球温暖化対策地域推進計画等、現在策定済の環境に関する全ての計画を指す。なお、その中で環境保全に取り組む内容も盛り込まれていて、適宜見直しを行っていくため、敢えて環境保全に関する計画だけを策定していく予定はないということである。
- ⇒ そういうことであれば、環境に関する計画策定数という項目にし、今後、生物多様性地域計画や地域エネルギー計画など、新たに策定していく必要があるものを把握していくこととすれば良い。また、なぜこのような提案をしたかという点、基本施策の名称が総合的・計画的な環境対策の推進であるからであり、その指標がマイバッグ持参率等では、適切ではないと考えたからである。
- ⇒ 基本施策指標は、指標設定方針にもあるとおり、基本施策名称ではなく、基本施策方針と整合を図ることとしており、ここでは「市民・事業者・行政の連携」という内容を重視している。そのため、行政側が作成する計画数よりは、市民・事業者・行政の連携によるものを指標として設定したいという方向で整理している。
- ⇒ 指標設定の主旨と合致しないとしても、計画を策定していくという意思を何らかの形で反映させておくべきだと思うが。
- ⇒ 確かに、今回の地震や原発事故等、エネルギー対策は重要になってくる。しかしながら、そのような個別の新たな対策について、現在の地球温暖化対策地域推進計画に基づき対応していくのは当然であり、そのために新たに計画を策定するというような対応や意思表示は、相応しいとは思えない。

## ③ 基本施策指標(案)「地域・企業・行政が一体となった環境保全実施事例数」について

この指標も設定しないこととしているが、市民・事業者・行政の連携 という面では、この基本施策の根幹に関わる部分であり、このとおりの内容でなくても、把握できる数値があれば、指標として設定するべきであると思う。

- ⇒ 確かに、基本施策の方針が、市民・事業者・行政の連携 であるのに、この基本施策の評価をマイバッグ持参率だけで評価するのは極端である。数値が把握できるのであれば、違う形でも良いので、設定するべきであると思う。
- ⇒ 指標設定判断の際、環境保全という言葉尻を捉えてしまったところがあった。環境全般という意味で解釈するべきであった。環境保全というと公害等悪い環境の状態を良くしようという生活環境保全の取組が多いため、また、そのような取組で地域・企業・行政が一体となり取り組んでいる

事例が多くないため、数値の把握も難しいと思われることから、設定しない方向で整理した。そのため、環境全般の取組として把握できる方法はないか検討してみたいと思う。

⇒ 何れにしろ、ここの基本施策を評価するにあたって、指標がマイバッグ持参率と環境学習会年間参加者数だけでは、適正な評価ができないと思う。ながの環境パートナーシップ会議もマイバッグ持参率調査だけやっている訳ではないので、そういった事も考慮すべき。

⇒ 市民・事業者・行政の連携による取組は非常に大事なことであり、また、特に環境分野は、こういった連携・協働による取組が他の分野に比べて先行していることも事実であるため、連携による取組で基本施策が適正に評価できる指標について、再検討することとしたい。

#### ④ 基本施策指標(案)「環境学習会年間参加者数」について

長野市が主催する環境学習会という定義になっているが、指定管理者が自主事業として開催するものも含めば、この学習会への参加者数をもっと多くカウントできるのではないかな。

⇒ ここに掲載している数値は、環境政策課主催のものだけである。ご意見のとおり、環境学習会は、市だけが主催しなければならぬものでもなく、多数の主催者があって然るべきである。どのような内容のものを環境学習会と定義づけるかということと調査範囲をどうするかというところをキッチリ決めさえすれば、非常に有効な内容になると思う。

⇒ 確かに、長野市主催にもかかわらず、年間 200 人程度の参加者数を目標値としているのは、少し恥ずかしいような気がする。もっと小さな団体でも 200 人ならすぐ集まる。一桁違うのではないかなと思ってしまう。

⇒ この指標も、現在策定作業中の第二次長野市環境基本計画で設定することとしている。これも踏まえて、市が主催するものだけではない定義を考えて、かつ、数値が把握可能な指標が設定できるよう再検討する。

#### 【アンケート指標】

##### ⑤ アンケート指標(案)について

アンケート指標(案)で、例えば、基本施策 221 省資源・資源循環の促進では「資源のリサイクルやごみの減量化に対する取組が盛んである」であって、同様に基本施策 231 生活環境の保全では、「騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている」であり、いずれも基本施策の方針には、もっと様々な項目や要素が掲げられているのに、このアンケート指標(案)の内容は、かなり限定的なため、このままでいいかどうか疑問である。そこで、アンケート指標(案)をどういう視点でどう考えればいいのか分からないため、どのように設定して、また、適切かどうかをどのように判断すればいいのか教えてほしい。

⇒ 後期基本計画の基本施策が、前期基本計画の基本施策とほとんど変更がなかったことから、このアンケート指標(案)は、継続性も重視し、前期基本計画と同様のものとしている。また、限定的と受け取られる内容は、回答者が分かり易いということも考慮しているからである。

⇒ 背景というか経過は理解できた。ただ、基本施策 231 生活環境の保全のアンケート指標が、「騒音や悪臭がなく～」であり、騒音や悪臭に限定していいものか疑問が残る。

⇒ 市民の方から苦情をいただく件数が多いものが、近隣の騒音や悪臭であることは事実であり、そういった事情も含めてこのアンケート指標の内容としている。

#### 【212 良好な自然環境の確保】

##### ⑥ 基本施策指標(案)「ホテルを見かけることがある市民の割合」及び「20～30 種程度の指標種の確認地区数」について

「ホテルを見かけることがある市民の割合」は、アンケートであるということだが、その内容では、

ただ、ホタルとしてだけ聞いているのか。それともホタルの種類まで聞いているのか。

⇒ 種類までは聞いていない。

⇒ 長野市内にホタルは5種生息しているが、それぞれ生息環境が違うため、5種生息している地域は自然環境が豊かという判断ができることから、アンケートをとる際には、分かる人には種類も聞いたほうが良い。また、環境審議会自然環境調査専門部会(以下、「専門部会」という。)は終了してしまうため、継続性がないということで専門部会で選定した指標種の確認地区数を指標に設定することは難しいとしているが、ホタルだけでは生物多様性指標としては適切ではないため、「20~30種程度の指標種の確認地区数」という提案をさせていただいた。ホタルの生息環境整備は良いことであるが、一方、ホタルに執着するあまり、他の種の生息環境を害したり、生息地外の種のホタルを生息させてしまうような問題につながることもある。こういう現状を考えると、ホタルだけの指標にしてしまうことは、危険性があると思われる。

次に、専門部会が終了してしまうという問題であるが、現在、各地区に自然環境保全推進委員(以下、「推進委員」という。)が配置されており、その方達の活動は活発で、毎年、市にその有効な活動内容を報告している。専門部会が終了してしまうのであれば、推進委員の報告内容を用いて指標を設定すればいいのではないかと考える。20~30種が多いのであれば、例えば、モリアオガエル、オオムラサキ、カジカ、カタクリ、ギンランの5種でもいいと思う。なぜこのような発言をするかということ、今まで推進委員が活動してきた報告内容を評価する仕組みが全く構築されておらず、何かしらこういった住民の取組を反映できる仕組みが必要ではないかと考えたからである。住民が一生懸命取組んでいるのだから、行政が実現可能な範囲でその取組に応えていくという姿勢が必要なのではないか。

⇒ 内容は良く理解できたが、先ほど話にあった5種などは、推進委員だから分かることであり、他の38万人の市民には分からないと思う。特に5種については、そういう啓蒙活動も必要であろう。ホタルにしているのは、誰でも分かるからであって、ホタルも5種いるといっても、種類が判別できる人はほとんどいないと思う。推進委員の活動内容を活用できる仕組みができていないなら、それは担当課と良く相談して、今後どのようにしていくか考えるとして、それを総合計画で取り上げるのは専門的で相応しくないと思う。

⇒ ホタルを指標にするのは賛同できる。しかし、推進委員の活動内容は、既に報告済みであり、データが存在しているため、それを5種に限定して公表するだけであり、難しいことではなく、公表することにより、市民への啓蒙活動につながる。また、一般市民が知らなくても、生物多様性が高ければ良く、そういった観点で支障はないと思う。

⇒ 今の問題の根本的なところは、将来にわたって数値が把握できるかどうかである。今、推進委員の方が頑張っていて、数値が把握できているとしても、今後どうなるのかわからない。ただし、今後も活動や仕組みが継続し、確実なデータが把握可能であれば、そのデータを用いることで、一般の人で知らなかった人も知る機会が増え、また、公表することにより推進委員のモチベーションにもつながる側面もあるため、指標に設定した方が良いと思う。

⇒ 総合計画は市全体の計画であるため、自然環境の内容を掲載可能な範囲は限られている。アンケート指標も、長野市全体のことについて長野市民に通常イメージできる内容で聞かなくてはならないため、ホタルに特化しているという現状もある。5年に一回改定作業をしている環境基本計画の中で、毎回環境に関するアンケートを取っており、その中で生物多様性に関わる内容として居住地周辺の動植物の状況を細かく調査していて、その経年変化をとらえることで、地域の自然環境の変化は把握できる。また、推進委員からは、年一回のレポートをいただいており、発表会や意見交換会も行っていて、データ自体はしっかり積み上がってきている。しかし、その内容を一般市民が見られる状態にないことは事実である。だが、それを全て総合計画で対応させようというのは無理がある。

- ⇒ この指標は、アンケート指標を設定する訳ではないはず。ホタルに関する指標はアンケートであることからすると、実績で把握できる指標がないのはおかしいことから、生物多様性に関する数値が把握できるのであれば、指標として設定した方がよい。
- ⇒ 推進委員の活動は5年続いているが、その間、集めたデータを全く活用しないのは、行政の怠慢ではないかと思う。そのデータを少しでも活用する方向にもっていきたいというお願いである。
- ⇒ ホタルを見かけることがある市民の割合は、現在策定作業中の第二次長野市環境基本計画の指標としても設定するものであるが、他に適切な指標がなかったこともあり、この指標としているのも事実である。今、議論している生物多様性の指標案で、これからも数値の把握が可能であれば、指標として設定する方向で考えても良いが、推進委員の活動を評価できる仕組みができていないなど、しっかりとした過程がない状況で、総合計画の指標に設定するには、継続性と信頼性に不安が残る。
- ⇒ 推進委員の継続性については、現在、非常に有効な活動を行っているため、今後も継続していくべきものとして考えており、その前提で、この提案も考えている
- ⇒ 推進委員の活動内容をどのように活用するか、また、その内容をいかに市民にフィードバックしていくか、現状では、そのシステムが整っていない。それを総合計画に入れ込んでいくことがいいのかどうかという問題はあある。
- ⇒ ホタルの指標は、生物多様性という視点と自然環境保全という視点、継続性 及び 現在策定作業中の第二次長野市環境基本計画でも設定したいという理由で用いている。また、推進委員の活動内容が活用できていないという問題については、行政の怠慢であるといった業務の評価をされるようであれば、我々が有効活用するためにしっかり検討しなければならないことである。ただし、この内容を総合計画の指標とするには、データの継続性や目標値の設定方法等、そういった基本的な問題に立ち返って検討していかななくてはならず、また、環境基本計画や計画と名がつかなくても取組として実施していくべきものがあるため、そういった所から組込んでいくという形で進めていけるように検討したい。
- ⇒ だからといって、ここの基本施策の評価をホタルの指標のみに全て任せてしまうのは、非常に不安があるため、できる範囲で対応はして欲しいと思う。
- ⇒ これ以上話が上手く噛み合わないのは、我々が推進委員の活動内容を良く理解していないからであり、検討するという事であるから、その際、総合計画として適しているかどうかも含め、多くの市民の方々が理解できる分かり易いものであれば、指標に設定すれば良いし、そうでなければ別の方法を考える ということぐらいしか、この場では決められないのではないかと。
- ⇒ もう一つの案としては、過去の数値が把握できるが、目標値の設定までは難しいというのであれば、次に協議する内容である図表という形で反映させるという方法もある。
- ⇒ それでは、これは、検討していただき、担当課、事務局と部会長で調整の上、決定した内容をお知らせすることとしたい。
- ⇒ これはお願いであるが、他の基本施策指標は複数あるものの、ここの基本施策指標は今のところ1つしかない。実際、基本施策の方針では「豊かな自然環境のもとに生物多様性が確保され、きれいな水や大気、緑とのふれあいがあるまちづくりを目指します」となっているにもかかわらず、その基本施策内容が適切に反映された指標かどうかという根本に立ち返ったときに、「ホタルを見かけることがある市民の割合」だけでは、妥当とは言い難いため、検討される時は、その点も考慮してほしい。

【233 緑化・親水空間の充実・創造】

⑦ 基本施策指標(案)「都市公園における緑のゆたか率」について

数値の設定は難しいということになっているが、緑のゆたかさは、緑の質の向上にもつながるため、今後、検討して行ってほしい内容である。

⇒ 当然、質の向上は必要なため、現在も取り組んでいるところであるが、今後、より一層の取り組みを行うためにも、ゆたかさに関する検討を行っていく。

#### ⑧ 基本施策指標(案)「多自然河川延長」について

既存河川を多自然河川と認定することは難しいということだが、どういうところが難しいか聞かせてほしい。

⇒ まず、公図上、水路敷となっているものは、長野市が管理する河川として場所が特定できるため把握は可能である。しかしながら、谷筋や大雨の後に流れてくるもの等、川は多数存在するため、どういったものを多自然河川とするかという定義から考えなくてはならず、また、非常に時間がかかる作業であることから、難しいということである。

⇒ 市街地でも、工事をせずに保全していくべきである河川が必ずあるはずで、そのようなものを認定するという対応方法はいかがか。

⇒ ご提案のとおりだと思う。ただし、この内容は、総合計画に位置づけるのではなく、今後、河川整備計画の中で提案を受入れ、検討の上、整備の際に反映させていただくこととしたい。

#### 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申(素案)【環境分野】について

##### (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画 施策の目標と主な取組について

平成 23 年度 第 2 回 長野市総合計画審議会で、環境分野の施策の目標と主な取組は、原案(資料3)のとおり決定された。

##### (2) 図表について

後期基本計画においても、基本施策の現状を統計的・視覚的に把握できるようにするため、前期基本計画と同様に、基本施策ごとに図表を掲載することから、図表(案)の項目について、(資料3)のとおり確認した。図表(案)の項目の数値は、今後、事務局で取りまとめていく。

その他修正(資料3)の 45 ページ 46 ページの修正)

#### 新エネルギーを再生可能エネルギーに修正。

政府のエネルギー政策の見直しも踏まえ、現在策定作業中の第二次環境基本計画及びこれから見直しを行う地球温暖化対策地域推進計画等では、「新エネルギー」という文言は使用せず、全て「再生可能エネルギー」に統一するため、第四次総合計画後期基本計画でも同様に文言を修正するとともに、注釈も「自然の力を利用したり今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効利用する新しいエネルギーのこと」から「自然界で起こる現象から取り出すことができる再生可能なエネルギーのこと」というように、若干表現を変更している。このように修正したい。

⇒ 再生可能エネルギーという言葉は、最近良く使われているが、これも行政用語的なものである。大きく分けて自然エネルギーとバイオマスエネルギーのことを指すため、注釈であるが、「自然力を利用したエネルギー及びバイオマスエネルギーがあり、また、利用するためには生産エネルギーがかかるため、単に再生産されるエネルギーでない」ことなど、正確に記述する必要がある。

⇒ 長野市総合計画に掲載するレベルでは、この程度でいいのではないか。一般市民に分かりやすく説明するのも、一つの仕事である。

⇒ 元々、現況と課題で、省エネルギーと新エネルギーという対比を前提に注釈も記述されている。そのため、新エネルギーを再生可能エネルギーに修正ということであれば、この程度の内容になるのではないか。確かに、再生可能エネルギーという言葉は純然と見ると説明不足の気

もするが、間違っていないと思う。

⇒ それでは、修正案については、このままとする。

⇒ では、本日ご協議いただいて再検討するとした指標と、目標値が未設定で保留とさせていただいている指標があるが、これは、設定済である指標とともに、7月25日開催の第3回長野市総合計画審議会に中間答申(案)として提案できるようにする必要があるため、今後、担当課、事務局及び部会長と調整の上、決定させていただき、その結果を、部会員の皆様に、至急通知で報告させていただき、了承いただくこととする。

## 6 その他

### (1) 平成23年度 第2回 長野市総合計画審議会の議事について

資料4のとおり

⇒ 「資料3 第四次長野市総合計画 後期基本計画 目標等について(案)」は、次回へ継続審議となった。また、「別冊資料 第四次長野市総合計画 後期基本計画 施策の目標と主な取組(案)」は、保健・福祉分野と防災分野で、一部再検討となったものを除き、原案のとおり決定した。

### (2) 第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申について

9月29日(木) 午後5時30分から開催。会場等詳細は、後日通知する。なお、同日午後4時から「平成23年度第4回長野市総合計画審議会」を開催予定。公開で行うので傍聴可能。

今後の予定等について

後期基本計画 環境分野の指標(案)・図表(案)の項目について、一部保留事項を除き決定したため、当初予定していた作業部会での協議事項は全て終了した。このため、今後の総合計画審議会での審議状況にもよるが、環境部会は、今回が最後となる予定である。

なお、会議概要は、毎回、部会で内容を確認してきたが、本日の会議概要は、今回が最後となる予定のため、作業部会員に通知で内容の確認を依頼し、その上で、修正箇所等を含め、部会長と協議し、確定・公表することとする。